

第66回日本学生科学賞 最終審査進出研究作品概要

JB048CE	中学	生物	愛知県
学校名	岡崎市立美川中学校		
研究作品タイトル	河川敷樹林帯に於ける昆虫生態調査 マンション灯火に飛来した昆虫の検証報告		
研究者氏名 (共同の場合はグループ)	森田 晴空		
指導教諭氏名	河合 賢也		

【動機】

長年、灯火に集まる昆虫と気温・湿度関係や環境変化による昆虫相の変移を調査して来た。これら多くの昆虫は、いったどこから飛来するのだろうか。近隣の広葉樹林や田園に生態系があると仮定して、調査を行った。

【方法】

昆虫が光をに集まる習性を利用して、ライトトラップを設置し集まった生物を調査した。また、集まった昆虫を記録のため捕獲し、標本にした。

【結果】

マンションの灯火にはほとんど見られなかったフユシャクをいくつか捕獲することができた。同様にマンションでは見られなかったヘビトンボも捕獲することができた。同じコガネムシのでもビロウドコガネは多く採取できた。

【まとめ】

飛翔能力の低いフユシャクの生態系を確認した。ヘビトンボの胴が太いことから、羽化直後の個体であることが分かった。広食性のビロウドコガネは環境の変化に強い。

【展望】

環境の変化により、生態系は大きく変化する。今までの調査結果をもとに、新たな都市開発などで環境が変わるとき、どのように生態系が変化するか予想ができる。また、失われてしまうかもしれない生物種を特定することで、その種の保護を行う手立てを考えていきたい。